

「委託先におけるプログラムミスによる統計数値の誤り発生の防止」
の検討の進め方（案）

1. プログラムミスによる誤り発生状況の確認

基幹統計、一般統計を所管している府省に対し、書面調査や一斉点検で報告のあった結果数値の訂正案件について、プログラムミスが原因で発生したものを確認の上、当該事案について、ミスが発生した工程、ミスの内容、発見した契機、履行確認の実施状況等を把握（調査事項：別紙）

2. 受託機関からのヒアリング

調査業務を受託している民間事業者（業界団体）や、中央集計機関である独立行政法人統計センターが実施しているプログラムミス防止に向けた取組をヒアリング

各府省へ報告を依頼する事項【案】

項目		確認事項（各府省の記入内容）
統計名		当該統計名
府省庁等名（担当課室名）		当該統計を所管する府省庁等名（担当課室名）
統計の種類	基幹／一般	基幹統計、一般統計の別
	事例の区分	1: 書面調査で報告された結果数値訂正事案 2: 一般統計自己点検結果における結果数値訂正事案
公表時期		結果数値訂正事案の公表時期
プログラムミスの有無		プログラムに起因する数値訂正か否か （※プログラムに起因する数値訂正であった場合は、以下を確認）
具体的な 内容	発生した 作業工程	1: 個票処理過程 2: 集計処理過程 3: 公表処理過程（集計処理終了から公表までの間） 4: その他（具体説明）
	発見した 契機	具体説明（例：前月比を確認した際、振れ幅が大きかったため など）
	事象の区分	1. プログラムの設計上に誤りがあった。（発注者側の指示誤りを含む。） 2. プログラム内部に誤り（バグ）があった。 3. その他（プログラムそのものに不備はないが、運用面での誤りとして、データの投入場所の誤りや作業手順の誤りがあった場合など）
	事象の具体	内容を具体的に説明（例：××、○○に係る個票データをプログラムに取り込む際に付番する県コードの誤りで、○表中○表を修正 など）
履行確認の実施状況有無		1:（プログラム作成時や変更時）テストデータ等を用いた検証を行ったか 2: 作業で発生したデータのエラー件数を報告させているか 3: 一次納品（仮納品）としての報告をさせて、作業経過を確認しているか

※結果数値訂正事案1件ごとに、上記事項について報告を求めることを想定。